

羽幌町離島振興計画策定のための町民・島民アンケート調査結果のまとめ

項目	内容					
調査目的	本アンケート調査は、離島地区の将来像を描く「羽幌町離島振興計画（仮称）」の策定にあたり、離島住民及び市街地区の住民からそれぞれの視点による離島の課題や意見を集約し、広く町民の意見を取り入れるべく、その手段の一つとして実施するものです。					
調査方法等	区分	調査対象者数	調査方法		調査期間	
	町民	500世帯	年代別は無作為抽出		4月18日～5月7日	
	希望者	2件	町HPで公表			
島民（天売・焼尻）	319世帯	離島地区全世帯（方面委員による配布・回収）				
回収状況	区分	(A) 配布数	(B) 無効調査票	(C) 有効調査票 (A)-(B)	(D) 回収数	(E) 回収率 (D)/(C)
	町民	500	0	502	203	40.4%
	希望者	2	0			
	島民（天売・焼尻）	319	0	319	178	55.8%

項目	内容
調査結果 (概要)	<p><町民(市街地)アンケート></p> <p>【年齢について(問1)】 年齢層については、「30代」が28.6%と最も多く、次いで「40代」が24.1%、「60代」が19.2%となっており、各年齢層から平均的に意見を得られています。</p> <p>【天売・焼尻島に行ったことがあるか(訪問経験)(問3)】 島の訪問経験では、「両方行ったことがある」が62.6%と最も多く、次いで「焼尻島のみ」が17.2%、「天売島のみ」が6.4%となっています。一方、「行った事が無い」が13.8%となっており、概ね10人に1人が「天売・焼尻島を知っているが、行った事が無い」という結果になっています。</p> <p>【天売・焼尻島を訪問した主な目的について(訪問目的)(問4)】 島を訪問した主な目的については、「観光・保養」が32.0% (65名) と最も多く、次いで「仕事」が16.3% (33名)、「学校行事」が15.8% (31名) となっています。 なお、「キャンプ」及び「イベント」の回答は、「観光」を内容別に細分化したものであり、合わせると42.3%は観光が主な目的となっています。</p> <p>【天売・焼尻島のイメージについて(問5)】 天売・焼尻島のイメージについては、「自然・風景が良い」が54.7%と最も多く、次いで「ゆったりしている」が39.4%、「海が綺麗」が35.5%、「食べ物がおいしい」が31.5%となっており、豊かな自然や新鮮な海産物など地域資源の魅力に対して良いイメージが持たれています。 一方、「その他」の回答では、「店が無い。交通が不便。」、「医療・生活が大変そう」、「物価が高い」などといった、離島地区に対する悪いイメージの回答となっています。</p> <p>【天売・焼尻島を訪問した際の満足度について(問6)】 島の満足度については、「まあまあ満足」が46.8%と最も多く、「とても満足」の8.4%と合わせると55.2%と過半数以上の方が満足と回答しています。 一方で、「あまり満足していない」が15.3%、「不満」の4.4%を合わせると19.7%と訪問経験者の概ね2割の方の満足度が低いという結果になっています。</p> <p>【島の産業振興のために必要なこと(問11)】 島の産業振興のために必要なことでは、「地場製品のPRの充実」が56.2%と最も多く、次いで「若者などの担い手育成」が51.2%、「製品加工などによる地場産品の高付加価値化」が37.4%となっており、既存の地場産品を活用した付加価値を高める取り組みが求められているほか、担い手としての地域の若者育成が求められています。</p> <p>【島の観光振興のために必要なこと(問12)】 島の観光振興のために必要なことでは、「交通費（フェリー運賃）低価格化」が55.7%と最も多く、次いで「観光イベントや観光・体験メニューの充実」が55.2%、「公共施設、旅館等の施設の整備」が46.8%となっているほか、「離島へのアクセスの改善」や「土産品や飲食店のメニューの充実」などの項目にも回答率が広く分散しており、課題は広範囲であることが伺えます。</p> <p>【島の定住・移住促進のために必要なこと(問13)】 島の定住・移住促進のために必要なことでは、「安全・安心な医療の提供（医師の安定的な確保）」が81.3%と最も多く、次いで「雇用の場の充実」が63.5%、「商店・公共交通等の生活利便性の向上」が48.3%、「定住・移住者への支援（起業・住宅支援など）」が40.9%など回答率が分散傾向にあり、課題は広範囲であると言えます。 特に、医療と雇用の課題については、回答者の大半の方が対策が必要と認識しており、最も大きな課題であると言えます。</p>

項目	内容
調査結果 (概要)	<p><島民アンケート></p> <p>【年齢(問1)】 年齢層については、「70歳以上」が39.7%と最も多く、次いで「50代」が17.9%、「60代」が16.8%となっており、「20代」から「40代」の世代の割合が少なくなっており、このことから居住者の年齢層が伺えます。</p> <p>【島での住み心地について(問2)】 島での住み心地については、「住みやすい」が35.8%と最も多く、「どちらかといえば住みやすい」が34.1%となっており、合わせると69.9%の約7割の方が住みやすいと感じています。一方、「どちらかと言えば住みにくい」が18.4%、「住みにくい」が4.5%で、合わせると22.9%の約2割の方が住みにくいと感じています。</p> <p>【島に対する愛着について(問3)】 島に対する愛着については、「とても愛着を感じている」が50.8%と最も多く、次いで「愛着をやや感じている」が36.3%となっており、合わせると87.1%と約9割近い方が愛着を感じています。</p> <p>【島に住み続けたいと思うか(問4)】 島に住み続けたいと思うかでは、「住み続けたい」が62.0%と最も多く、次いで「分からない」が20.7%となっており、「別の市町村に移りたい」と回答した方は全体の8.4%となっています。</p> <p>【島以外の町との違いを感じる事(問6)】 島以外の町との違いを感じる事では、「医療」が78.8%と最も多く、次いで「雇用の場」が42.5%、「生活環境」が38.5%、「娯楽施設」が38.0%などとなっており、全体的に回答が分散傾向にあり、医療を除いては、それぞれによって感じ方に違いがあることが伺えます。 なお、「情報通信環境」は8.9%と回答率は低くなっており、ブロードバンド環境の整備により、市街地等との違いを感じていないことが伺えます。</p> <p>【島の観光振興のために必要なこと(問7)】 島の観光振興のために必要なことでは、「交通費(フェリー運賃)の低価格化」が67.6%と最も多く、次いで「離島へのアクセス(都市間バスとフェリーの接続)の改善」が45.8%と交通面が上位を占めており、観光振興のための観光入込数の増加には交通の費用面と利便性の向上が求められています。 次いで、「旅館等の整備の充実」が41.3%となっているほか、「観光イベントや観光・体験メニューの充実」が31.8%となっており、観光客の受入体制の整備が求められていると言えます。</p> <p>【島での生活を維持していく上で優先すべきこと(問8)】 島での生活を維持していく上で優先すべきことでは、「安定的な医師確保に向けた取組」が73.2%と最も多く、特に重点的に取り組むべき課題であると言えます。 次いで「若者の定住・移住、U・Iターンの促進のための取組」が49.7%、「高齢化に対応した福祉施設の充実や島内交通等の利便性の向上などの取組」が43.0%となっています。</p> <p>【今後、どのような島にしていきたいと思うか(問9)】 今後、どのような島にしていきたいと思うかでは、「少子・高齢化に対応した福祉・医療が充実した安心な島」が62.6%と最も多く、次いで「漁業・商工業などの産業に活力ある島」が57.0%、「観光資源を活かした交流と賑わいのある観光の島」が38.5%と続いています。 このことから、島づくりの目標(テーマ)を設定するにあたってのキーワードは、一つは「福祉・医療が充実した安全で安心な暮らし」、二つ目は「島民が生き生きと働き続けるための産業の活性化」、三つ目は「地域の観光資源を活かした交流と賑わいの創出」であると言えます。 また、「自然エネルギーの活用など環境に配慮した美しい島」についても34.1%と関心が高く、今後、環境に配慮した島づくりを進めるにあたって、再生可能エネルギーの計画への位置付けや活用の検討が求められていると言えます。</p>
まとめ	<p>アンケート調査の結果、将来の島づくりを考える上で、最も大きな課題は「安全で安心な暮らしのための安定的な医療体制の確保」が不可欠であると認識されています。</p> <p>また、高齢化が顕著に進む離島地区へ若者や島外からの定住・移住を進める上での「産業の活性化による雇用の確保」、また、観光振興を進める上での「交通の低価格化・利便性の向上」、「体験型観光や土産品、飲食店など観光メニューの充実」、「旅館や海水浴場、トイレなどの観光基盤の整備」が課題という結果になっています。</p> <p>「自由記述」による意見の傾向としては、町民アンケートが「観光分野」「交通分野」「その他(総合的な島の活性化の手法など)」の意見が多かった事に対し、島民アンケートでは「医療・福祉分野」「産業分野」に対する意見が多く挙げられており、実際に島に住んでいる方と島外の方のそれぞれの視点からの幅広い意見が集約出来たと言えます。</p> <p>また、「アンケートの調査結果を公表して欲しい」という意見が挙げられています。</p>